

学年・教科・担当	2年・美術・高橋順子
----------	------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	*オリエンテーション *色彩構成 色の性格（感情）	○美術の特性（右脳を耕す教科）を再認識する。 ○一年間の学習内容を理解する。 ○色彩の心理効果について理解し、テーマに応じた配色を考えて表現する。
	5	*アニマルスクラッチ	○動物のいる風景をテーマに、スクラッチで写実的に表現する。効果的なハッチングの方法を工夫して根気よく制作する力を育てる。
	6		○遠近法について理解し、風景を透視図法と空気遠近法を使って表現する。
	7	*創作切り絵	○植物をテーマに切り絵のデザインを創作し、特殊ペーパーを使って制作する。
	9	*木彫 小箱	○工芸品の伝統の彫りについて学習し、模様や植物の形などの彫りに生かして表現する。
2	10		○木のもつあたたかさや木目の美しさを感じながら、その良さを引き出すように磨いて仕上げる。
	11	*鑑賞 日本美術	○日本独特の自然観や美意識を作品を通して感じ取り、日本の美術をより深く楽しむ。
	12	*織り	○マイ簡易織り機を作り、縦糸・横糸にさまざまな素材を使って織る。半立体にするなど、変化をつけて織りながら自由に表現する。
3	1	*空想画	○好きなもの、身近なものから想像をふくらませて、空想の世界を表す。絵の具以外の画材や、素材を自在にを使って表現する。
	2		
	3	*鑑賞 美術史の流れ	○美術史について、主要な流れを概観し、知識を深める。作品の発表・鑑賞を通し、表現の違いを認識する。
		*鑑賞（毎回）	○各題材の理解を深め、表現の多様性に気づかせる。

評価について	
評価の観点	評価の方法
①知識・技能 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	作品、テスト、ワークシート、アイデアスケッチなど
②思考・判断・表現 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品、テスト、ワークシート、アイデアスケッチ、鑑賞プリントなど
③主体的に学習に取り組む態度 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	作品への取り組み状況 鑑賞プリントへの取り組み状況 課題の提出状況

